

清瀬市まちづくり基本条例に基づく提言について

当委員会では、清瀬市まちづくり基本条例に基づく市民提案について審議してまいりましたが、実施に向けて取組むべきものと判断いたしましたので、別紙のとおり提言いたします。

平成22年5月18日

清瀬市長 星 野 繁 殿

清瀬市まちづくり委員会

委員長 内 山 勇

# 提 言 書

## I 提言の主旨

清瀬市まちづくり委員会は、清瀬市まちづくり基本条例第9条第2項に基づき「キョセケヤキロードギャラリーのパンフレット作成」について、市長に提言いたします。

## II 提言の理由

### 1 市民からの提案

市民から下記の提案がありました。

#### (1) 提案の題名

「キョセケヤキロードギャラリーをもっと楽しもう！」

#### (2) 提案の内容

キョセケヤキロードギャラリーは、優れた彫刻作品とけやきが季節ごとに変化し、ゆっくり歩けば約一時間で美術と自然鑑賞が出来る東京でも有数なスポットです。

清瀬には桜、カタクリ、ひまわり、雑木林、柳瀬川等の自然が豊かです。それらのイベントにあわせて是非ケヤキロードギャラリーに足を運んでもらいたいと思います。A4用紙1枚か2枚で彫刻の名前・作者をマップにしてはどうでしょうか。(清瀬市のホームページにケヤキロードギャラリーのすばらしいマップと作品紹介があるのでうまく利用してはどうか)

それを郷土館や市民センターに柳瀬川回廊パンフと一緒に設置するほか、小学校や中学校の課外教育でも利用してほしいと思います。イベントの日に説明者がボランティアで説明できるようになるとなお良いのですが。

## 2 まちづくり委員会での検討

上記の提案について、まちづくり委員会で検討しました内容は、下記のとおりです。

- (1) 清瀬市の主要道路であるけやき通りに設置された「キョセケヤキロードギャラリー」は市民の皆さんに親しまれている。市民生活のなかで、市民とアートがふれあう場として、市のシンボルゾーンとなっている。
- (2) ロードギャラリーが完了した当時、「キョセケヤキロードギャラリー I・II・III」という冊子が作成されている。現在は、市のホームページに、ロードギャラリーのマップと作品の紹介は掲載されているが、歩きながら見られるパンフレットがあれば、もっと楽しめると考えられる。
- (3) 審議する中で、まだロードギャラリーを知らない市民が多いので、季節ごとのイベントを開催することも考えられたが、ここでは、PRのためにもパンフレットの作成が必要であるとした。提案にある「是非ケヤキロードギャラリーに足を運んでもらいたいと思います」ということからパンフレットの作成が必要である。
- (4) パンフレットに載せるギャラリーの情報量は多くなると思われるが、パンフレット自体を大きくしてしまうと見づらいので、言葉は簡潔にして、字体を大きくしたほうが良い。できれば、A4サイズで両面刷りくらいが持ち運びやすく見やすいと考えられる。
- (5) パンフレットのマップの中には、公共施設やトイレの場所を入れたほうが親切である。
- (6) 市内の小中学校では、標語やポスターなどを子供たちからアイデアを募って作成している。作成にあたっては、イラストなどに子供たちのアイデアを取り入れるため、小中学校や健全育成委員会にも協力依頼をしてもらう。作成の段階から参加すれば、ロードギャラリーに関心を持ってもらえるので良いと思われる。学校との協力によって、まちづくりの活性化につなげていくことになる。一部の学校では、ロードギャラリーの清掃ボランティアを募り、清掃活動を行っているので、

ぜひ協力してもらいたい。

- (7) パンフレットには、清瀬のシンボルマークである「キラリ」を是非活用してほしい。
- (8) パンフレット作成後は、設置場所やどのように配布していくかが検討された。ロードギャラリー内に配布できる場所を設置することや、駅前の商店（主に個人商店）に働きかけを行う。駅にも置いてもらうことが可能な場合がある。
- (9) 提案者は、市のホームページにあるマップと作品紹介をうまく利用したらどうかと提案している。そこで、まちづくり委員会では「キョセケヤキロードギャラリーをもっと楽しみましょう！！」というリーフレットを作成したので添付する。
- (10) まちづくり委員の大半が提案の趣旨に賛同し、パンフレットの作成が必要であるとしたので、これらのことを検討し提言をする。

### 3 キョセケヤキロードギャラリーのパンフレット作成に向けて

清瀬10景にも定められているけやき通りは、美しい緑の並木道を形成しています。

キョセケヤキロードギャラリーは、市民提案で示されているとおり、国内外の有名な作家の彫刻作品と、四季折々に移り変わる自然の美しさを通勤途中や散歩をしながら鑑賞できるスポットです。日常生活のなかで彫刻に出会える野外ギャラリーとして、市民の皆さんに潤いをもたらし、芸術に親しむ機会を与えてくれます。

けやき通りに彫刻が設置されてから20年余りが経ちますが、今でもボランティアによる作品の清掃活動が行われるなど、市民と彫刻の交流が深まっています。

このようなことから、まちづくり委員会での検討した内容もご配慮いただき、日々の暮らしの中で身近に美術と自然に触れ合えるキョセケヤキロードギャラリーに、多くの皆さんに足を運んでもらうために、手軽に持ち運べるハンディタイプのパンフレットを作成しPRすることが必要と考えます。